

# 2022年

## 信長の台所 津島・まちあそび

### 後藤眞子作品展

朝日陶芸展、日本現代陶彫展などで受賞している津島在住の後藤眞子の作品展です。2021年春にはノリタケの森ギャラリーで個展を開催し、人、花、動物、魚など具象的な陶芸は独特な雰囲気を出していました。会場の渡邊家住宅は、津島村の惣年寄役を務めた渡邊新兵衛が文化6年(1809)に上棟した町家で、市指定文化財です。



日時:4月20日(水)~24日(日) 10時~16時

会場:渡邊家住宅(本町3丁目)

入場料:500円(町家維持管理協力金)

※受付時、お名前(複数の場合は代表者)と電話番号のご記入にご協力ください

※室内ではマスク及びソックスの着用をお願いします

※入場制限することもあります。

問合せ:090-1620-7655(事務局)



渡邊家住宅

### うとうと展 UTO UTO Vol,20

期間限定ギャラリー&アートショップ‘UTO UTO‘。

‘UTO UTO‘が津島まちあそびに参画して、2022年で早や20回になります。コロナで20・21年と止む無く中止しましたが、今年は再びアーティストらが津島に集結し、かつての川魚店「カネ長」を魅力あるアート会場に仕立てます。やきもの・ガラス・絵画・写真・雑貨・ワークショップ等、充実の作品群をお楽しみください。美しい藤、風情ある町並みとともに、ものづくり仲間がお待ちしております。



日時:5月1日(日)~3日(火・祝) 10時~17時。 ※5月3日は16時まで

会場:カネ長(本町2-23) 入場無料・マスク着用

## 市民歴史文化講座 ー 景観保全と町家 ー

津島の中心市街である本町筋には、近世町家景観、祭り文化、茶の湯など固有の生活文化が蓄積されている。町家は一本の旧津島上街道に沿って連なり、全体としての町並みを形成しているため、町家それぞれが統一性と整合性に心配りをし、町全体の調和につとめていた。また、津島の町家の大きな特徴は、お茶室である。津島の町家の多くにお茶室がある。これは津島の町家文化・建築様式として全国的にみても稀有な例である。しかしながら現在の本町筋の町家は徐々に空き家、取り壊しが進んでいる。



### ① 『本町筋を歩く ー 町家景観の現況 ー』

津島の中心市街地であり、歴史的建造物・景観の保全を必要とする本町筋。1986年には町家建築実態調査が行われている。36年経った現在、町家景観はどのように変化しているのか、現地を歩きながら経過観察するとともに景観保全について考える。

日時：4月29日(金・祝)10時～11時30分 集合：津島市観光交流センター(本町1丁目52-1)  
案内人：黒田剛司(天王文化塾) 定員：20名 申込 090-1620-7655

### ② 『知多市岡田地区の歴史的建造物の保存・活用について』

本山氏はNPOAHC(あいちヘリテージ協議会)に所属するヘリテージマネージャーとして、知多市岡田地区の岡田街並保存会(1994年発足)とともに、知多木綿で繁栄した歴史的建造物の調査や修理などの活動を通じ、岡田地区の町並み・景観の保全・活用を図っている。

日時：4月29日(金・祝)13時～14時30分 会場：津島神社社務所2F(神明町1)  
講師：本山幸二氏(あいちヘリテージマネージャー・一級建築士・設計工房エム)

### ③ 『津島市本町筋の景観と町家保全』

市民共有の財産「景観」。瀬口氏は「本町筋には、表通りから見える町家の姿だけでなく、豊かさが内部にある。それはひとりの豊かさではなく、大勢の豊かさの反映である。このような町並みは極めて珍しい。津島の誇りではなからうか。」(雑誌「AT」1991年)と述べる。

日時：4月29日(金・祝)14時30分～16時 会場：津島神社社務所2F(神明町1)  
講師：瀬口哲夫(名市大名誉教授 専門：近代建築史・歴史的まちづくり)

## 津島の山車 魅せます

津島秋まつりの山車祭は300年余の歴史があります。津島の山車が「からくり人形」の妙技とお囃子を披露します。

- ① 七切 5月1日(日)10時～15時 からくり披露：10時・13時  
会場：市神社・津島市観光交流センター付近(本町1丁目)
- ② 向島 5月4日(休)11時～15時 からくり披露：11時・14時  
会場：津島神社 南門・居森社(神明町1)



※コロナ感染状況、天候等の状況により変更及び中止になる場合があります。